



春日井ロータリークラブ

クラブテーマ 2015～2016 年度 WEEKLY REPORT

「奉仕・親睦」を一人一人のレベルで日々実行しよう
「奉仕・親睦」を皆で共有し、祝福しよう
たくさんの達成感と充実感を得よう

会長：志水ひろみ
副会長：名畑 豊
幹事：長谷川英輝
会報委員長：成瀬 浩康

例会日：金曜日 12:30～13:30
例会場：ホテルプラザ勝川
事務局：春日井市鳥居松町 5-45
TEL：(0568) 81-8498
FAX：(0568) 82-0265
E-mail：Ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp



ニュートン科学館



ニュートンのリンゴの木

本日のプログラム

- 点 鐘 青山 博徳君 志水ひろみ君
- ・ ROTARY SONG 「日も風も星も」
- ・ 今月の歌 「見上げてごらん夜の星を」
- ・ ビジター紹介 志水ひろみ君
- ・ 食事・歓談
- ・ 委員会報告
- ・ 会長挨拶 志水ひろみ君
- ・ 卓 話 杉田 明子氏
- ・ 幹事報告 長谷川英輝君
- ・ 点 鐘 志水ひろみ君

今月の歌

見上げてごらん夜の星を
見上げてごらん 夜の星を
小さな星の 小さな光が
ささやかな幸せを うたってる

先週の記録

幹事報告 幹事 長谷川英輝君

第3回理事会報告

- 下記、全て承認可決されました。
- 第1号議案：開始貸借対照表並びに8月度収支表の件
- 第2号議案：福祉の集いの協賛金の件
- 第3号議案：地区から「ロータリー希望の風奨学金」の支援金引落しの件
- 第4号議案：東港ロータリー訪問の件
- 第5号議案：7月 IDM 収支報告の件
- 第6号議案：野球観戦家族会収支報告の件
- 第7号議案：秋季ゴルフコンペ日程の件
- 第8号議案：10月30日（金）夜間例会の件
- 第9号議案：東尾張分区 IM 全員登録の件

基本的教育と識字率向上月間

例会予定	9月25日（金）	10月2日（金）	10月9日（金）	10月16日（金）
	夜間例会 18時～ ホテルプラザ勝川	理事役員会 11:30 祝福 卓話米山奨学学生	補助金事業 16:30 ホテルプラザ勝川 交通安全チラシ配り	卓話 マリー・カンタグリル氏

2015年9月18日（金）第2247回（9月第3例会）

第10号議案：福祉の集い 事業の件

地区行事

：10月22日（木）米山奨学カウンセラー会議
ホテルキャスルプラザ 14:30～
出席者は社本太郎 米山奨学カウンセラー
：平成28年5月29日（日） ミレニウム・ソウル・ヒルトン
第2760地区 ガバナーナイト（加藤ガバナーを囲む夕食会） 締切9月末

その他

9月のロータリーレート 1ドル=124円

次週予告

9月18日（金）卓話 杉田明子さん

◎例会変更の案内

名古屋大須 RC	10月1日（木） 9月27日（日） 介護施設慰問の為老人ホーム庄内の里
羽 島 RC	9月29日（火） 9月29日（火） 18:00 夜間例会の為 アンディアーモ・パルテンツァホテル
名古屋城北 RC	9月29日（火） 9月29日（火） 18:30 夜間例会の為（東急REI ホテル）
名古屋葵 RC	9月24日（木） 9月26日（土） 8:00 家族例会の為 蒲郡
名古屋アイリス RC	9月30日（水） 10月2日（金） 12:30 ガバナー公式訪問の為東急ホテル

お詫び

夫人誕生日

15日 磯野 敏雄君・弘子さん
18日 梅田 英夫君・里子さん
24日 長谷川英輝君・亜紀さん
28日 中川 健君・加代子さん

先週記載漏れがありました。

出席報告

委員長 古屋 義夫君

会員 59名	欠席 12名	出席率 79.7%
先々週の修正出席	欠席 1名	出席率 98.3%

ニコボックス報告

委員長 岡嶋 良樹君

○祝福、入会式、卓話と盛り沢山、進行がんばります。
○蓮野さんよろしく。
○よろしくおねがいします。
○新入会員紹介よろしくお願いいたします。

○神田君の入会を祝して！！
○小野寺会員の卓話に期待して。
○皇居、東宮御所のバラの剪定に行き参りました。
○夫人誕生をうけて。
○結婚祝いをうけて。
○本日 50才になりました。ありがとうございます。
○結婚祝いありがとうございます。
○祝福ありがとうございます。
○祝福の皆様おめでとうございます。新入会員の神田君入会おめでとうございます。
○台風がそれて良かったです。
○アテンダンス表彰ありがとうございます。

○祝福おめでとうございます。

磯野 俊雄君 伊藤 一裕君 梅村 守君
太田 弘道君 岡田 義邦君 風岡 保広君
加藤 宗生君 川瀬 治通君 近藤 秀樹君
志水ひろみ君 清水 勲君 芝田 貴之君
社本 太郎君 朽本 正樹君 宅間 秀順君
成瀬 浩康君 中川 健君 野浪 正毅君
林 憲正君 蓮野 美廣君 場々大刀雄君
日比 雄将君 屋嘉比良夫君 藪下 尚武君
山田 治君

○御協力、ありがとうございます。岡嶋 良樹君

卓話

小野寺 誠君

今年の7月より、加藤久仁明君のご紹介で伝統ある春日井ロータリークラブに入会させていただきました、中部電力春日井営業所の小野寺誠です。

本日は、自己紹介ということで貴重なお時間を頂戴いたしますが、どうぞよろしくお願いいたします

ます。

今日は私の生い立ちや、これまで生きてきた中で物事の考え方や行動についての礎となっている、野球との出会いを通したお話をさせていただきます。

まず、小野寺という苗字ですが、こちらでは非常に珍しいのですが、両親が東北の岩手県出身ということもあり、東北地方では石を蹴れば小野寺に当たるとはと言いますが、地元では結構メジャーな苗字のようです。

私は、昭和37年3月1日生まれで現在53歳になりました。

生まれは名古屋市で、両親が精肉店で丁稚奉公をした後、暖簾分けをさせていただいたお陰で、幼少の頃に春日井市に引っ越し、鳥居松の四九市通り沿いのショッピングセンター内で精肉店を営むこととなりました。

ですから、地元の八幡小学校・東部中学校・春日井商業高校と全て地元春日井の学校に通っていました。

平成5年に多治見市に引っ越し、両親と妻・子供3人の7人家族で住んでおりますが、22年ぶりに春日井市内の街並みを散策してみたところ、人口増加に加え宅地造成や商業施設の増加など、町の活性化と発展に驚いているところであります。

話は変わりますが、私が子供の頃に放映されていた楽しみなテレビ番組といえば、プロ野球とプロレス、また、巨人の星、ザ・ガードマンやキーハンターといった番組でした。そして、私が心を奪われたのがプロ野球でした。

当時、名古屋地区にもかかわらず野球中継は巨人戦を中心とした試合しか放映されませんでしたので、必然と子供時代の憧れは王貞治さんで、一本足打法からライトスタンドへ放たれるホームランに魅了され、これが野球を志すきっかけとなりました。

小学校時代は野球部がなかったので、当時、夏休みに行われていた町内会のソフトボール大会に夢中になり、八幡校区で優勝し、神領校区の優勝チームとの対決にも勝利し、愛日大会で3位という成績を収めました。

これを契機に中学から本格的に野球を始め、2年生の頃に知多中学校の正門近くに引っ越したのですが、当時の野球部の監督から転校は許すが野球部の退部は認めないと、無理難題を突き付けられた結果、自転車で東部中学校まで通うこととなりました。

その後、高校進学について先生方と面談をして、夏甲子園愛知県大会で春日井商業がベスト16に入ったとのことのお話を聞き、私も地元の商業高校で野球をやり、卒業後は家業を継ごうと思っておりました。

当然のことながら商業高校でしたので、女子高と言わざるを得ないほど男子生徒は少ない状況でしたが、当時の監督が日体大野球部の出身でしたので、野球部の練習は大変厳しいもので、誰もが目標を高く持ち懸命に練習に励んでおりました。

当時は、私学4強（中京・東邦・名電・享栄）といわれた甲子園常連組が圧倒的な実力を支配していた時代で、私と同学年には「東邦高校の1年生ピッチャーで甲子園準優勝を果たしたバンビ坂本さん」や「愛工大名電高校から西武に1位指名され、その後、巨人のショートで活躍した鴻野 淳基さん」などがおられました。

そんな時、野球の神様が私たちにチャンスを与えてくれました。それは、高校2年生の頃、現在のソフトバンクホークス監督の工藤公康さんやイチロー選手を輩出した、愛工大名電と練習試合をさせていただけることとなりました。

私はセンターで4番を打っていたのですが、その試合で3ベースを含む2安打を放ち、先輩方の活躍もあり創立以来はじめて私学4強という牙城を崩してしまったのです。

そして、試合結果に納得のいかなかった愛工大名電から、夏の大会直前に再度試合の申し込みをいただき、この試合でも大差で勝利するという奇跡的な体験をさせていただきました。

その夏の甲子園予選の組み合わせは、対戦チームが全て県大会に出場している強豪校でしたので、初戦の1回表にエースの気負いからファールでノーアウト満塁というピンチを招き、初回でエースが降板し先輩にピッチャーが替わったものの大量失点を免れ、何とか粘り勝ちして、次の試合に駒を進めることができました。

しかし、監督の信頼を裏切ることとなり、2試合目以降の試合ではエースに見切りをつけ、私がピッチャーに指名されました。

もともと、1年生の頃にはピッチャーをしており、肘を壊したため外野を守っていましたが、その時は既に肘の痛みも完治していたため、また、あの真っ白なプレートに足をかけ、一段高いあのマウンドの上から投げられる喜びと心地よい緊張感を抱えながら、バッターに向かって精一杯の投球をしていたことが、今でも懐かしい思い出として心に刻まれております。

そして、愛工大名電との試合以降、自分たちの流れをうまく掴み、流れを逃がさず波に乗ることができたためトントン拍子で勝ち進み5回戦ベスト8をかけて、東邦高校エースの「バンビ坂本さん」と投げ合うこととなりました。

試合前のピッチング練習では、3塁側で投球練習をしている「バンビ坂本さん」の周りには、全国から集まったと思われる追っかけ女子高生ファンの方たちが一斉にシャッターを切っており、そ

のシャッター音が1塁側の投球練習場まで響き渡るほどでした。

一方、1塁側の投球練習場では、同じ16歳で身長178センチ体重65キロの小野寺青年が懸命にピッチング練習をしていたのですが、同じクラスの同級生の女の子が唯一、写真を撮ってただけでした。

そして、いよいよ試合開始のサイレンが鳴り響いた途端、奇妙な出来事が起こりました。3塁側スタンドから1塁側スタンドへ女子高生の大移動が始まったのです。

普段、学校では小野寺先輩！頑張ってください。と声をかけてくれた女子高生にもかかわらず、なんと、我が母校の女子高生も一世を風靡していた「バンビ坂本さん」が目当てで応援に来ていたのです。「女心と秋の空」という言葉はよく耳にしておりましたが、夏の空でも一緒なんだ。と高校2年生の夏に女性のしたたかさを知るはめとなりました。

愛工大名電との奇跡的な勝利から、波に乗ってここまで試合を続けてこられました、勝負事の世界ですので何度も奇跡が起こるはずもなく、実力どおりコールド負けを喫してしまいました。

しかし、ここでもプチ奇跡が私に起きたのです。最初の打席で外角へ大きく曲がるカーブで三振したのですが、次の打席の初球真っ直ぐをフルスイングした打球は、右中間のフェンスに届くツーベースヒットとなったのです。

そのボールを打った瞬間のスタンドからの声援と拍手は盛大なものと思いきや、バンビ坂本さんが三振をとった時の方が圧倒的に拍手も大きく、またまた世の中の厳しさを教えていただいた貴重な体験となりました。

私にとっての高校時代の思い出深い出来事でしたが、ここでは大きく3つのことを教えていただきました。

1つ目は、自分たちで流れを作る・掴むことの重要性。（流れを止めるには相当の力が必要となる）
2つ目は、諦めずに一生懸命努力していれば、必ず誰かが見ていてくれる。

（私にとっては野球の神様とご先祖様）

3つ目は、バンビ坂本さんには人気も野球の実力もかなわない。

（当然ですが・・・）ということですよ。

その後、就職問題が待ち構えており、当初、実家の肉屋を継げばいいと思っていたのですが、両親からは「景気も良くないので、商売はやめておきなさい」と忠告を受けたため、途方に暮れておりましたが、ここでも、中電に入社された野球部の諸先輩方からお声掛けをいただき、またまた運よく今の会社に入社させていただくことになりました。

こんな私を採用していただいたからには、同期

の倍以上の努力をしなければ会社に申し訳ないという思いと、野球に生かされた人生ならば最低10年は会社の野球を続けようと誓いました。

そして、初任配属が春日井営業所となり、会社の野球では地元の軟式野球連盟に加入し、企業様やクラブチームと試合をさせていただきました。

ここでも、思わぬ展開が待っており、春日井市の大会を勝ち進み、東海大会でも優勝したため、東日本の全国大会に出場するという思い出も懐かしい出来事です。

現在は、多治見市の13クラブという学童野球（1～6年生）の監督をしておりますが、土日祝日はすべて子供たちと一緒に過ごしております。今までの人生を振り返ると、私は野球で生かされてきました。

ですから、野球に恩返しをすることが私の使命と考え、かれこれ15年ほど前から学童野球の指導者を続けております。

私が野球から学んだことを、今度は野球を通して子供たちに伝えていくことが、私の責務だと考えています。

この15年の間、西日本の全国大会や県大会に出場させていただいたり、多治見市内で優勝させていただいたこともあります。逆に市内大会で低迷していた時期や最下位だった経験が、今のクラブと私を支えてくれていると感じています。

これまで、子供たちに一貫して言い続けてきたことは、野球の技術というよりは、あいさつ（礼儀礼節）や大好きな野球ができることへの感謝の気持ち、仲間との絆の大切さなど基本的なことばかりです。

こんな時代だからこそ、しっかりと子供たちに伝承していきたいと思い懸命に取り組んでおりますが、不思議なことに、これらのことがきちんと実践できる子供たちがいる年代ほど、強いチームとなっていました。

特にあいさつについては、「誰でも簡単にできることを、誰にもできないくらい続ける」そして、「自分だけが良ければいい」という考えは絶対に許さない。

野球には皆様もご存じのとおりバントがあります。自分がアウト（犠牲）になっても、チームとしての機能を果たし勝利に向け貢献することが大切です。

子供たちが、チーム（組織）の勝利（信頼獲得）に向けて、自分は何をするべきかを考えられる大人になってくれたら最高です。

これからも、「子供」と「親」そして「指導者」がきれいな正三角形をバランスよく形作るとともに、大人たちがそれぞれの持ち場立場で機能を果たし、主役の子供たちが野球を通して大人の階段を一步步確実に歩いていくことを目標に、今後

とも野球への恩返しをしてまいりたいと存じます。とりとめのない話となってしまいましたが、私の今までの人生のほとんどが野球で培ってきた経験を基軸として物事を考え行動してきたように思います。

こんな私ですので、まだまだロータリアンとしての知識も自覚もなく、みなさまにはご指導を賜ることばかりだと存じますが、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。
本日はありがとうございました。



祝福 会員誕生日の皆さん



入会式 神田 寛司くん



卓話 小野寺 誠くん